



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月4日

上場会社名 株式会社 ヤマダコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 6392 URL <https://www.yamadacorp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 昌太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 池原 賢二 TEL 03-3777-5101
 四半期報告書提出予定日 2022年8月5日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	3,521	25.0	442	7.1	497	14.3	351	14.9
2022年3月期第1四半期	2,818	25.0	412	74.3	435	74.6	306	68.3

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 584百万円 (88.3%) 2022年3月期第1四半期 310百万円 (67.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	146.97	—
2022年3月期第1四半期	127.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	17,180	12,722	72.4
2022年3月期	17,038	12,284	70.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 12,433百万円 2022年3月期 11,992百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	41.00	—	60.00	101.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	41.00	—	60.00	101.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	5,900	3.1	700	△14.6	700	△17.0	410	△30.8	171.26
通期	11,800	△3.3	1,400	△22.7	1,400	△17.5	900	△22.9	375.93

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、 除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	2,400,000株	2022年3月期	2,400,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	5,936株	2022年3月期	5,936株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	2,394,064株	2022年3月期1Q	2,394,081株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済の動向は、米国においては、実質GDPは設備投資、個人消費、住宅投資ともに前期比年率でプラス成長となり、堅調な推移となりましたが、一方で、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う原油や食料品価格の上昇に伴い、FRBによるインフレ抑制を優先した金融引き締めにより景気後退懸念が広がるなど、経済の先行きは非常に不透明な状況となっております。

欧州においては、実質GDPは前期比年率でプラス成長となりましたが、高インフレによる下押し圧力が強まり個人消費はマイナス成長となりました。また、エネルギー価格の上昇を中心に、物価上昇の裾野も広がってきており、ECBによる利上げが決定されるなど、欧州においても今後の景気後退が懸念されております。

中国をはじめとする新興国経済は、中国においては、新型コロナ感染が拡大して上海市が事実上のロックダウンとなり、景気は失速することとなりました。6月にはロックダウンは解除されましたが、失速した分を取り戻すには至らず、景気の停滞が続く状況となりました。

一方、日本経済においては、鉱工業生産は、新型コロナの感染拡大による供給制約や中国のロックダウンの影響で弱い動きとなりましたが、個人消費は、まん延防止等重点措置の終了を受けて、対面型サービスを中心に持ち直しが見られるなど、景気持ち直しの動きが見られました。

こうした中、当社グループにおいては、オートモティブ部門の売上は低調な推移となりましたが、インダストリアル部門では、当社の主力製品でありますダイアフラムポンプを中心に好調な推移となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は3,521百万円（前年同期比703百万円、25.0%増）となりました。売上高を部門別にみますと、オートモティブ部門は806百万円（前年同期比△50百万円、5.8%減）、インダストリアル部門は2,331百万円（前年同期比713百万円、44.1%増）となり、上記部門に属さないサービス部品や修理売上などのその他の部門の売上高は383百万円（前年同期比40百万円、11.7%増）となりました。

利益面では、売上総利益は1,379百万円（前年同期比168百万円、13.9%増）となり、営業利益は442百万円（前年同期比29百万円、7.1%増）、経常利益は497百万円（前年同期比62百万円、14.3%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は351百万円（前年同期比45百万円、14.9%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は次のとおりであります。

日本における外部顧客に対する売上高は1,502百万円（前年同期比15百万円、1.0%増）、営業利益は212百万円（前年同期比△113百万円、34.8%減）となりました。米国における外部顧客に対する売上高は1,314百万円（前年同期比500百万円、61.4%増）、営業利益は213百万円（前年同期比114百万円、115.5%増）となりました。オランダにおける外部顧客に対する売上高は308百万円（前年同期比8百万円、2.7%増）、営業利益は15百万円（前年同期比△10百万円、41.1%減）となりました。中国における外部顧客に対する売上高は328百万円（前年同期比175百万円、114.8%増）、営業利益は34百万円（前年同期比20百万円、160.0%増）となりました。タイにおける外部顧客に対する売上高は67百万円（前年同期比4百万円、6.8%増）、営業利益は13百万円（前年同期比6百万円、108.7%増）となりました。

また、当第1四半期連結累計期間の連結売上高に占める海外売上高は2,124百万円（前年同期比709百万円、50.1%増）で、その割合は60.3%（前年同期50.2%、10.1ポイント増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は17,180百万円となり、前連結会計年度末に比べ142百万円の増加となりました。これは主に仕掛品の増加(86百万円)、原材料及び貯蔵品の増加(56百万円)等によるものであります。

負債合計は4,458百万円となり、前連結会計年度末に比べ296百万円の減少となりました。これは主に未払法人税等の減少(△216百万円)、賞与引当金の減少(△120百万円)等によるものであります。

純資産合計は12,722百万円となり、前連結会計年度末に比べ438百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加(208百万円)、為替換算調整勘定の増加(257百万円)等によるものであります。

この結果、自己資本比率は72.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は3,712百万円となり、前連結会計年度末に比べ163百万円の増加となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは350百万円の純収入(前年同期は366百万円の純収入)となりました。これは主に売上債権の増加189百万円等の支出要因があったものの、税金等調整前四半期純利益497百万円等の収入要因があったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは65百万円の純支出(前年同期は41百万円の純支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による71百万円等の支出要因があったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは177百万円の純支出(前年同期は189百万円の純支出)となりました。これは主に長期借入金の返済による43百万円、配当金の支払による126百万円等の支出要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2022年5月11日の「2022年3月期決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,549,096	3,712,739
受取手形、売掛金及び契約資産	1,740,909	1,974,439
電子記録債権	183,374	203,418
商品及び製品	2,137,406	2,126,952
仕掛品	527,107	613,975
原材料及び貯蔵品	633,231	689,752
その他	580,501	156,471
貸倒引当金	△7,473	△8,302
流動資産合計	9,344,152	9,469,448
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,193,616	5,213,885
土地	1,198,516	1,207,370
建設仮勘定	105,970	83,231
その他(純額)	496,194	513,625
有形固定資産合計	6,994,297	7,018,112
無形固定資産	159,329	153,080
投資その他の資産	540,901	540,177
固定資産合計	7,694,529	7,711,371
資産合計	17,038,682	17,180,819
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,430,726	1,387,602
短期借入金	80,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	227,128	266,971
未払法人税等	320,530	104,098
返金負債	4,551	4,476
製品保証引当金	10,035	10,261
賞与引当金	178,027	57,601
未払費用	237,700	258,046
その他	229,063	333,010
流動負債合計	2,717,763	2,502,067
固定負債		
長期借入金	1,556,378	1,473,034
繰延税金負債	170,076	169,606
退職給付に係る負債	192,586	198,935
役員退職慰労引当金	49,499	49,899
資産除去債務	15,471	15,471
長期末払金	32,270	30,020
その他	20,621	19,398
固定負債合計	2,036,902	1,956,364
負債合計	4,754,665	4,458,432

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	600,000	600,000
資本剰余金	58,187	58,187
利益剰余金	11,020,615	11,228,834
自己株式	△7,205	△7,205
株主資本合計	11,671,597	11,879,816
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,273	38,072
繰延ヘッジ損益	—	△18,119
為替換算調整勘定	276,073	533,542
その他の包括利益累計額合計	321,346	553,495
非支配株主持分	291,072	289,075
純資産合計	12,284,016	12,722,387
負債純資産合計	17,038,682	17,180,819

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	2,818,191	3,521,413
売上原価	1,606,687	2,141,426
売上総利益	1,211,503	1,379,987
販売費及び一般管理費	798,539	937,545
営業利益	412,964	442,442
営業外収益		
受取利息	247	337
受取配当金	4,981	5,472
補助金収入	6,060	—
負ののれん償却額	1,222	1,222
為替差益	1,762	32,416
不動産賃貸料	7,626	7,414
その他	3,115	10,280
営業外収益合計	25,017	57,144
営業外費用		
支払利息	1,312	697
減価償却費	871	858
その他	209	225
営業外費用合計	2,392	1,782
経常利益	435,588	497,804
特別利益		
固定資産売却益	20	81
投資有価証券売却益	6,045	—
特別利益合計	6,065	81
特別損失		
固定資産処分損	3,175	399
特別損失合計	3,175	399
税金等調整前四半期純利益	438,478	497,486
法人税、住民税及び事業税	120,704	139,001
法人税等調整額	9,947	6,601
法人税等合計	130,651	145,603
四半期純利益	307,827	351,883
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,625	21
親会社株主に帰属する四半期純利益	306,201	351,862

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	307,827	351,883
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,662	△7,200
繰延ヘッジ損益	—	△18,119
為替換算調整勘定	9,941	257,468
その他の包括利益合計	2,278	232,149
四半期包括利益	310,105	584,033
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	308,479	584,011
非支配株主に係る四半期包括利益	1,625	21

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	438,478	497,486
減価償却費	69,503	121,734
負ののれん償却額	△1,222	△1,222
固定資産売却損益(△は益)	3,154	318
投資有価証券売却損益(△は益)	△6,045	—
受取利息及び受取配当金	△5,229	△5,809
補助金収入	△6,060	—
支払利息	1,312	697
売上債権の増減額(△は増加)	△25,724	△189,721
棚卸資産の増減額(△は増加)	△145,751	14,092
仕入債務の増減額(△は減少)	249,322	△114,011
その他	△34,383	374,747
小計	537,353	698,311
利息及び配当金の受取額	5,229	5,809
利息の支払額	△1,312	△717
補助金の受取額	6,060	—
法人税等の支払額	△180,861	△353,368
営業活動によるキャッシュ・フロー	366,468	350,035
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△56,797	△71,965
有形固定資産の売却による収入	160	81
無形固定資産の取得による支出	△416	—
投資有価証券の売却による収入	7,519	—
投資不動産の賃貸による収入	7,626	7,414
その他	△34	△1,066
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,942	△65,535
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	50,000	80,000
短期借入金の返済による支出	△50,000	△80,000
長期借入金の返済による支出	△66,462	△43,501
配当金の支払額	△116,153	△126,830
非支配株主への配当金の支払額	—	△2,018
その他	△6,398	△5,061
財務活動によるキャッシュ・フロー	△189,013	△177,411
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,443	56,553
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	143,956	163,642
現金及び現金同等物の期首残高	4,202,429	3,549,096
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,346,386	3,712,739

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	日本	米国	オランダ	中国	タイ	
売上高						
オートモティブ	835,809	—	9,592	5,850	5,172	856,425
インダストリアル	342,028	814,131	291,177	123,789	47,326	1,618,453
その他	309,325	—	—	23,444	10,542	343,312
顧客との契約から生じる収益	1,487,163	814,131	300,770	153,084	63,041	2,818,191
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,487,163	814,131	300,770	153,084	63,041	2,818,191
セグメント間の内部売上高又は振替高	723,500	32,384	4,009	—	—	759,894
計	2,210,664	846,515	304,780	153,084	63,041	3,578,085
営業費用	1,884,630	747,622	278,956	139,960	56,761	3,107,932
セグメント利益	326,033	98,892	25,823	13,123	6,280	470,153

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	470,153
セグメント間取引消去	3,575
棚卸資産の調整額	△60,764
四半期連結損益計算書の営業利益	412,964

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	日本	米国	オランダ	中国	タイ	
売上高						
オートモティブ	770,922	—	17,408	6,221	11,848	806,401
インダストリアル	391,788	1,314,177	291,437	291,536	42,617	2,331,557
その他	339,563	—	—	31,025	12,866	383,454
顧客との契約から生じる収益	1,502,274	1,314,177	308,846	328,782	67,332	3,521,413
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,502,274	1,314,177	308,846	328,782	67,332	3,521,413
セグメント間の内部売上高又は振替高	922,221	23,193	3,655	—	—	949,069
計	2,424,495	1,337,370	312,502	328,782	67,332	4,470,483
営業費用	2,211,900	1,124,279	297,282	294,666	54,227	3,982,355
セグメント利益	212,595	213,091	15,219	34,116	13,104	488,128

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	488,128
セグメント間取引消去	59,772
棚卸資産の調整額	△105,457
四半期連結損益計算書の営業利益	442,442